

RAC運航乗務員養成制度および奨学金制度の創設について

～崇城大学との産学連携協定を締結し、沖縄の離島航空路を担うパイロットを養成します！～

2018年10月9日

第18038号

琉球エアコミューター株式会社（RAC、本社 那覇市、社長 伊礼 恭）と学校法人 君が淵学園 崇城大学（熊本県在、学長 中山峰男氏）は、運航乗務員養成に関する協定書を10月9日で締結しました。RACは本協定に基づき、将来にわたり沖縄離島航空路線の安定的な維持に資する施策として、パイロットを志望する沖縄に所在する大学等の学生を選抜し、崇城大学においてパイロット職として航空会社入社条件となる必要な資格取得の養成訓練を実施する制度を創設します。

併せて、RACは崇城大学におけるパイロット資格取得に要する学資等に対する経済的支援策として奨学金制度を創設します。

RACは島嶼県沖縄県の離島を結ぶ航空会社であり、安定運航体制の確保は沖縄県全域の人の往来、離島の定住条件整備、産業振興の観点から必要不可欠なものとなっています。

一方、航空機の運航に直接従事する高度専門職のパイロットの確保は、元々沖縄県出身者のパイロットが少ない状況にあること、また今後の少子化の進展も考慮すると更に厳しい状況になるものと想定され、離島路線の維持が困難になることが危惧されています。このような状況を踏まえ、将来にわたり離島航空路線を安定的に維持する施策として運航乗務員養成および奨学金制度を創設しました。

奨学金制度は、パイロットの資格取得に必要な訓練費用などを対象に奨学金を貸与します。そして奨学金の貸与を受けた学生がパイロット資格を取得した後、RACにパイロット職として入社し一定期間勤続した場合、全額返還を免除する制度です。

崇城大学は、2008年からエアラインパイロットを目指す学生に対し、大学として国内初、一貫教育によりパイロットを養成し、民間機が飛び交う熊本空港に隣接した国内唯一の空港キャンパスでエアラインパイロットに必要な各種ライセンス取得のための訓練を行っています。空港キャンパスには国内最大規模の訓練機14機、シミュレーター4基を保有し、エアラインパイロット出身者をはじめ経験豊富な教官陣がきめ細かな指導を行う、充実したパイロット養成環境を備えています。

